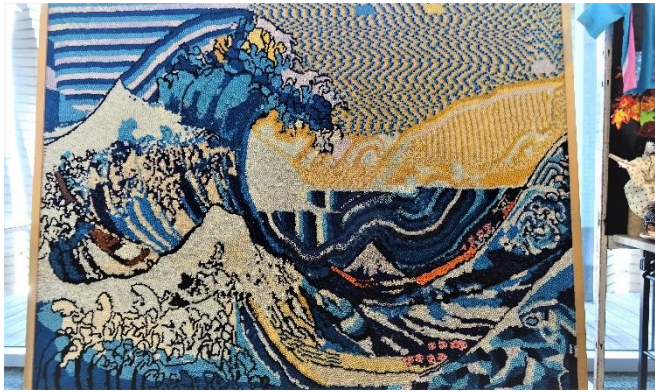
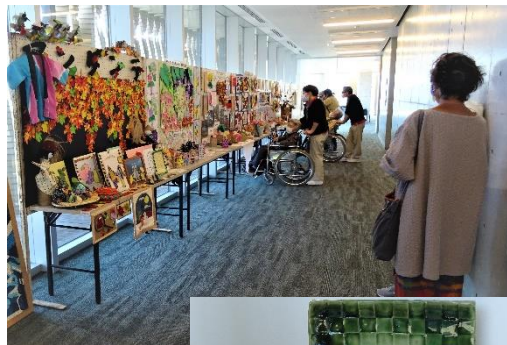


1階のエントランスホールから会議室、2階の回廊ギャラリーでは写真・絵画・陶芸・書道・切り絵・アートフラワー・パッチワーク・チョークアート・俳句・短歌・市内小中学校児童・生徒の作品が所狭しと展示されていた。



チューブで制作した波間に富士



介護施設利用者の作品展

陶芸



門屋副会長の油絵 2点



展示は11月10日(木)まで。

オーラルフレイル

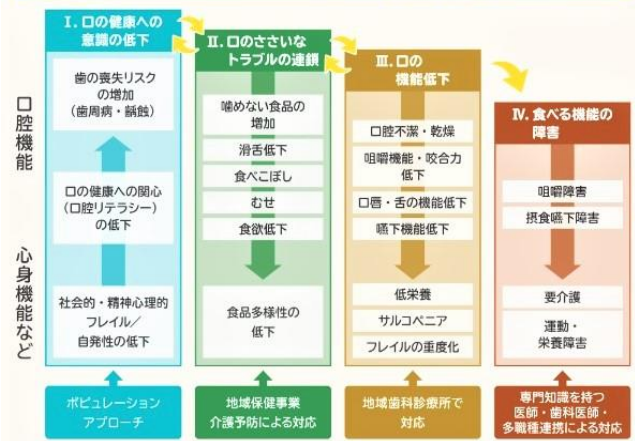
オーラルフレイル(口の機能が衰えている状態)は、食べこぼす、むせるといった口の中のささいな変化から始まる。放置するとフレイルや要介護のリスクが高まる。口は「食べる」「話す」「笑う」といった行動に関わるため、口の機能低下は、全身の衰えや社会性の低下に直結する。



口臭や歯石などが気になったら、第1段階の口の健康への関心が低下している状態。

オーラルフレイル概念図 2018年版

QOL(口腔・全身)/生活機能 疾患(多病)・多剤(ポリファーマシー)



第2段階では、むせる、かめないといった口のトラブルが出てくる。口や下の筋肉の衰えが進んでいる可能性がある。

さらに進むと第3段階の口の機能が低下している状態になり、低栄養や誤嚥性肺炎の発症リスクが高まる。

そして、食べる上で障害が出てしまっている状態が第4段階。この状態になると、機能を取り戻すのが難しい場合もある。話し方の変化やむせやすさに気づいたら、口の機能低下を疑ってください。定期的な歯科検診や日々のコツコツした努力で口の機能は取り戻せます。